

生物多様性の保全と自然との共生の推進

○生物多様性国家戦略の改訂（平成19年度）と施策の充実・強化
（重要生態系地域の保全と再生、外来生物対策）

世界自然遺産候補地（小笠原諸島）



（外来生物対策）

○野生鳥獣の保護管理の充実
（人材育成、広域の保護管理）

○人といきもののよりよい関係の構築
（地域における希少野生動物の野生復帰、動物愛護管理）



（エコツーリズムの推進）

○多様な自然資源の賢明な利用（ワイズユース）の推進
（魅力的な国立公園づくり、エコツーリズムの一層の推進）

生物多様性の保全を一層進めるための新たなグランドデザインの構築

クールシティの推進

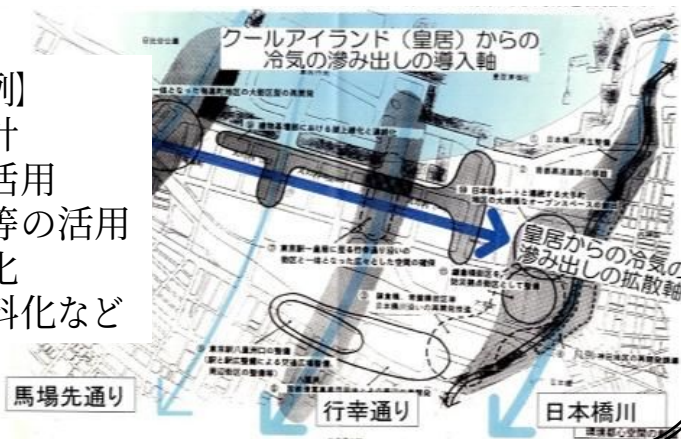
クールシティ中枢街区パイロット事業

注目度の高い街区を数カ所選定し、集中的に屋上・壁面緑化、風の道の設計等複数の対策を組み合わせた事業を実施する民間事業者に対して費用の一部を補助します。



【対策メニュー例】

- 風の道の設計
- 遮熱塗料の活用
- 保水性建材等の活用
- 屋上等の緑化
- 剪定枝の燃料化など



クールシティ推進事業

- ヒートアイランド現象に関する調査及び観測
 - ・環境影響に関する調査、気温等の測定
 - ・効果的な対策促進のためのガイドライン作成

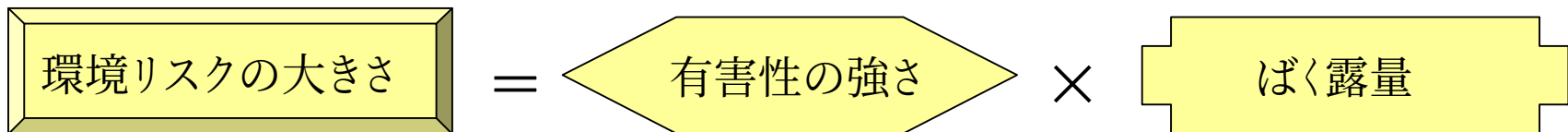
- 環境技術を活用した対策の検証
 - ・緑の効果
 - ・都市内小河川などの接触水面拡大の効果
 - ・地下湧水・地下熱等を活用した技術の効果

- 熱中症予防情報の提供とモニタリング



化学物質対策について

科学的な知見を充実させ、予防的取組方法も用いながら、
環境リスクをできる限り低減



リスク評価

～科学的知見の充実

- ☆小児等の脆弱性を考慮したリスク評価検討調査
- ☆(新) 農薬吸入毒性評価手法確立調査
- ☆(新) 製品中の有害化学物質モニタリング調査
- ☆花粉観測体制整備費

リスク管理・ リスクコミュニケーション

～緊急時を含む総合的な対策の推進

- ☆総合的な化学物質規制制度の導入検討調査
- ☆(新) 化学事故総合対策検討調査

国際取組

～アジアを始め各国との協調

- ☆化学物質審査規制等国际連携推進事業
- ☆POPs条約総合推進費
- ☆化学物質国際協力費